

西区文化センター随時講座 受講生募集

秦の始皇帝と 毛沢東の「文字統一」

— その「狙い」 —

始皇帝と毛沢東は言語規範化を権力強化と思想統制に活用。本講義で時代背景を踏まえ比較します。

2026 年 **1/13(火)**
13:30~15:00

講師 奥田 寛 (姫路獨協大学名誉教授 文学博士)

秦の始皇帝と毛沢東は、建国後、すぐさま「文字統一」に着手しました。具体的には、始皇帝は、当時、六国それぞれで通用していた、字体の異なった「漢字」(「異体字」)を秦国の「小篆」に統一しました。一方、毛沢東は、当時まで使われていた画数が多い漢字(「繁体字」)を簡略化した「簡体字」を制定しました。本講座では、「文字統一」を切り口に彼らそれぞれの狙いが何処にあったのか、その共通点及び相違点について当時の時代、社会背景に照らして具体的にお話します。

定員 先着 22 名

受講料 1,100 円 (受講料は講座日にお支払いください)

場所 西区文化センター2階 会議室 2



奥田 寛講師

11月7日(金)から窓口又はお電話にて先着順で受付け開始 窓口 8:30~ 電話 9:00~

お申込み・お問合せは

(公財)神戸市民文化振興財団 西区文化センター (旧西区民センター)

〒651-2273 神戸市西区糺台 5-6-1 ☎078(991)8321

第3月曜日休館 (祝日の場合は開館)

●交通アクセス 市営地下鉄・市バス・神姫バス「西神中央駅」下車 徒歩約3分